

せたな町 地域エネルギービジョン

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など
2. せたな町地域エネルギービジョンの基本方針
3. せたな町地域エネルギービジョンの目標
4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2022年12月27日



1

目次



1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など
2. せたな町地域エネルギービジョンの基本方針
3. せたな町地域エネルギービジョンの目標
4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など

(1)ご意見及び対応方針(案)

第3回協議会(2022年8月3日開催)や専門部会において、地域エネルギービジョン(以下、「エネビジョン」)について、下記の通りご意見・ご指摘をいただきました。

項目	第3回協議会でのご意見	対応方針(案)
具体的な取組(案)について	・瀬棚港を「基地港湾を補完する港湾」として、風力発電設備の設置準備や保守点検作業まで行える港湾を目指してほしい。(笠原委員)	・具体的な取組に追記した。
	・北海道から本州へと電力を運ぶ海底ケーブルの整備が計画されている。海底ケーブルの陸揚げ港の候補地選定にあたって立候補してほしい。(笠原委員)	
	・洋上風力発電設備にあたって、水深30～50mの海水温と潮流の計測機器、可能であれば魚群探知機を設置し、漁業関係者が24時間それらのデータを利用できる環境の構築をお願いしたい。(笠原委員)	
	・養殖施設、栽培センター、小型船舶や軽トラック等の動力として、再生可能エネルギーの一部を利用し、漁業者や農業者に還元してほしい。(笠原委員)	

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など

項目	第3回協議会でのご意見	対応方針(案)
具体的な取組(案)について	・再生可能エネルギーを活用した水素やアンモニアの製造に注目が集まっている。水素・アンモニア等の製造加工貯蔵企業の招致を検討してほしい。(笠原委員)	・具体的な取組に追記した。
	・塗料やガラスに貼るフィルムでの太陽光発電技術等、積極的に最新技術の導入し、再生可能エネルギーを活用できる環境を目指してほしい。(笠原委員)	
	・環境教育として、教材作成やWEB講義、サマー・ウィンタースクール等のせたな町らしい内容を盛り込む必要がある。(金子委員)	・具体的な取組に追記した。
基本方針について	・生物多様性に関する内容をより明確に記載してほしい。(金子委員)	・基本方針に追記した。

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など



項目	専門部会でのご意見	対応方針(案)
具体的な取組(案)について	・高校生のGISを活用した授業において、せたなのマップなど、地域の教材として利用可能な普及啓発的なプログラムになるといい。中学生や住民が理解しやすい地図を作成してほしい。	・具体的な取組に追記した。
	・水素、蓄電池など再生エネルギーの活用方法を模索してほしい。	
	・地域振興に結び付けられるようなアイデアをエネビジョンに加え、6次産業化、地産地消、地域で循環する事業ができるように考えてほしい。	

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など



(2) 第3回協議会以降の取組等

第3回協議会以降のエネビジョン、地球温暖化防止対策等に係る取組等は以下の通りです。

項目	日時	備考
陸上専門部会・洋上専門部会の開催	令和4年 9月21日(第4回陸上部会) 令和4年11月 1日(第3回洋上部会) 令和4年12月19日(最終回)	
町内中学生への再エネ学習機会の創出 ①町内風力発電設備見学	令和4年9月28日(北檜山中学校) 令和4年11月30日(瀬棚中学校)	ジェイウインドせたな様のご協力による
町内中学生への再エネ学習機会の創出 ②牛山会長による出前授業	令和4年11月24日(瀬棚中学校) 令和4年11月25日(北檜山中学校)	
せたな町地球温暖化防止実行計画に係る庁内会議(第1回)	令和4年11月28日	

目次

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など
2. **せたな町地域エネルギービジョンの基本方針**
3. せたな町地域エネルギービジョンの目標
4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2. せたな町地域エネルギービジョンの基本方針

第3回協議会を踏まえて修正した、エネビジョンの基本方針を以下に示します。5つの視点から基本方針を整理しました。

視点	基本方針
①経済 (農林業、漁業、観光など、 町内外の地域活性化)	町内の再エネ導入・省エネ推進を通して、町内外を含めたエネルギーの地産・地消を図り、町内外の地域活性化を図る。
②環境 (再エネ導入、省エネ推進、 生物多様性保全)	生物多様性の保全等のエリアを区分したゾーニングを通して、町民一人当たり日本一の再エネ導入量・省エネ推進により、日本一の脱炭素の取組を行う。
③社会 (安全・安心なまちづくり)	再エネ導入・省エネ推進による防災機能の強化等を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。
④教育 (環境教育・人材育成)	町内外の再エネ・省エネ設備を利用した環境教育・人材育成を図り、町民の脱炭素の取組を推進する。
⑤技術 (最新技術、農林業・漁業の 電化)	洋上風力発電などによる再エネ電源を利用した最新技術の活用により、町内の様々な施設や活動の脱炭素の取組を推進する。

目次

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など
2. せたな町地域エネルギービジョンの基本方針
3. せたな町地域エネルギービジョンの目標
4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

3. せたな町地域エネルギービジョンの目標

基本方針をもとに、せたな町地域エネルギービジョンの目標(案)を以下の通り設定します。

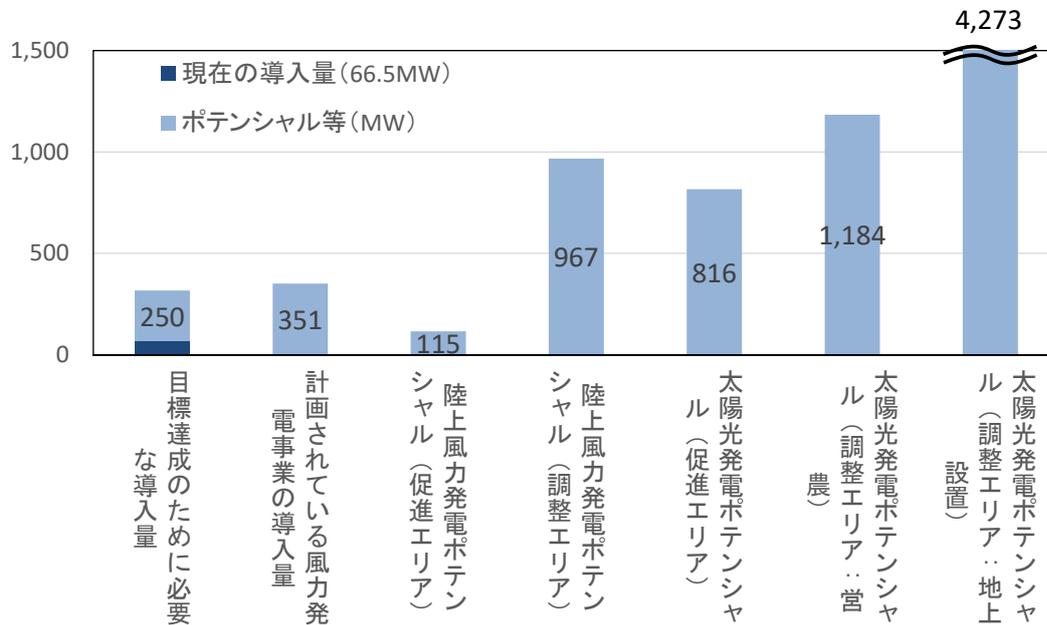
**日本一の再生可能エネルギーの導入を目指して
～みんなが主役「せたな愛」で省エネ・再エネ導入に取り組むまち～**

輪になって つなぐ「せたな」の 夢未来
～みんなが主役 笑顔あられるまちづくり～



3. せたな町地域エネルギービジョンの目標

2022年12月現在、入手可能なデータを用いると、現状の導入量66.5MWの約4.6倍、合計約320MWの導入をすると、住民一人当たりの再エネ導入量を日本一となる。



注：洋上風力発電ポテンシャル（促進エリア：183MW）（調整エリア：646MW）

目次

1. 第3回協議会等でのご意見及び対応方針(案)など
2. せたな町地域エネルギービジョンの基本方針
3. せたな町地域エネルギービジョンの目標
4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

第3回協議会で整理した各取組について、概要や想定される効果などを整理しました。

視点	基本方針	具体的な取組 (◎：2030年までに実施、○：2050年までに実施)
①経済 (農林業、漁業、観光など、町内外の地域活性化)	町内の再エネ導入・省エネ推進を通して、町内外を含めたエネルギーの地産・地消を図り、町内外の地域活性化を図る。	再エネ導入の促進 1. 再エネ設備の導入 a. ゾーニングの配慮事項等を踏まえた陸上風力発電の誘致 (◎) b. ゾーニングの配慮事項等を踏まえた洋上風力発電の誘致 (◎) c. 「基地港湾を補完する港湾」等の選定への取組 (◎) 2. 公的施設等の再エネ設備の設置、再エネ電源の地産・地消 a. 日本初洋上風力発電設備「風海鳥」のリパワーまたは建替 (○) b. 北部桧山衛生センター組合のごみ焼却処理施設を利用した発電 (○) c. 太陽光発電設備の設置(学校や役場などの公共施設等) (◎) d. 余剰電源の町民還元等を目的とした、町内外を含めた自営線設置などの検討 (○) 3. 民生部門等の再エネ電源の地産・地消 a. 太陽光発電設備の設置補助 (◎) 4. 農業・漁業での再エネ電源の利用 a. 農林業・漁業等への再エネ電源を利用した設備の設置支援等 (○) 5. 省エネの促進 a. 住宅や事業所のZEH化、ZEB化への補助 (◎) b. 公用車、町内バス・タクシーの次世代自動車(EV化)の推進 (◎) c. 町内の照明のLED化の推進 (◎) 6. 地域活性化の推進 など a. 再エネ設備を見学する施設の設置 (○) b. 再エネ設備の観光資源としての活用 (◎)

13

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

視点	基本方針	具体的な取組 (◎：2030年までに実施、○：2050年までに実施)
②環境 (再エネ、省エネ、生物多様性保全)	町民一人当たり日本一の再エネ導入量・省エネ推進により、日本一の脱炭素の取組を行う。	(同上) 7. 温室効果ガスの吸収源としての機能向上 a. 未利用材の活用による木質バイオマスの地産・地消の検討 (◎) b. 自然環境保全上、重要な地域の適切な保全・維持管理 (◎)
③社会 (安全・安心なまちづくり)	再エネ導入・省エネ推進による防災機能の強化等を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。	8. 再エネ基金や再エネ電源を利用した安全・安心なまちづくり a. 再エネ基金の設立の検討 b. 再エネ電源等を利用した次世代自動車による医療・介護・福祉輸送 (◎) c. 災害時における再エネ発電設備の活用 (◎) d. 再エネ電源を活用したロードヒーティング等による交通安全の確保 (○)

14

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

視点	基本方針	具体的な取組（◎：2030年までに実施、○：2050年までに実施）
④教育 （環境教育・人材育成）	町内外の再エネ・省エネ設備を利用した環境教育・人材育成を図り、町民の脱炭素の取組を推進する。	<p>9. 再エネ設備を利用した環境教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネ設備を見学する施設の設置（○） 再エネ設備を利用した環境教育に係る授業の実施（◎） 環境教育を目的とした町内外からの設備見学受入の実施（◎） <p>10. 再エネ導入・省エネ取組に係る勉強会の開催や広報等による周知（◎）</p> <p>11. 町内外の関係機関と連携した再エネ・省エネ設備の維持・管理に係る人材育成の取組（○）</p>
⑤技術 （最新技術、農林業・漁業の電化）	洋上風力発電などによる再エネ電源を利用した最新技術の活用により、町内の様々な設備や活動の脱炭素の取組を推進する。	<p>12. 再エネ設備における蓄電池の設置（○）</p> <p>13. 再エネ電源を利用したEV充電設備の設置（○）</p> <p>14. 温泉熱や小水力等を活用した再生可能エネルギーの導入の検討（○）</p> <p>15. 農機・重機・船舶のEV化・非化石燃料化（水素ガス）の実証事業（○）</p> <p>16. 家畜糞尿バイオガス設備等の設置（○）</p> <p>17. 近隣自治体へのエネルギー融通（町内外を含めた新電力の検討）（○）</p>

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

1. 再エネ設備の導入 a. ゾーニングの配慮事項等を踏まえた陸上風力発電の誘致（◎）

【概要】

- 環境影響評価法に基づき手続きが進められている陸上風力発電事業については、住民、関係機関、風力発電事業者と対話を行いながら、環境に配慮された事業となるよう調整していきます。
- ゾーニングで抽出された促進エリア、調整エリアにおいて陸上風力発電事業の導入検討が進む場合は、早期の段階から住民、関係機関、風力発電事業者と対話を行いながら、環境に配慮された風力発電事業の受け入れを目指します。

【期待できる効果】

- 関係する住民や関係機関の理解が得られた陸上風力発電事業の実施
- 大規模な設備による大幅なCO2削減
- 固定資産税等の収入や再エネ基金による地域貢献
- 風力発電の維持・管理に係る従業員の定着化

【関係する主体】

- せたな町、風力発電事業者、住民

【関連する主な取組】

- 再エネ基金の設置、再エネ設備による環境教育、観光資源としての活用

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

1. 再エネ設備の導入

b. ゾーニングの配慮事項等を踏まえた洋上風力発電の誘致 (◎)

【概要】

- ・ 環境影響評価法に基づき手続きが進められている洋上風力発電事業については、住民、関係機関、風力発電事業者と対話を行いながら、環境に配慮された事業となるよう調整していきます。
- ・ ゾーニングで抽出された促進エリア、調整エリアにおいて洋上風力発電事業の導入検討が進む場合は、早期の段階から住民、関係機関、風力発電事業者と対話を行いながら、環境に配慮された風力発電事業の受け入れを目指します。

【期待できる効果】

- ・ 関係する住民や関係機関の理解が得られた洋上風力発電事業の実施
- ・ 大規模な設備による大幅なCO2削減
- ・ 固定資産税等の収入や再エネ基金による地域貢献
- ・ 風力発電の維持・管理に係る従業員の定着化

【関係する主体】

- ・ せたな町、風力発電事業者、漁業関係者、住民

【関連する主な取組】

- ・ 再エネ基金の設置、再エネ設備による環境教育、基地港湾の補完等の取組、観光資源としての活用

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

1. 再エネ設備の導入

c. 「基地港湾を補完する港湾」等の選定への取組 (◎)

【概要】

- ・ せたな町及びその周辺の海域で洋上風力発電の計画があること、洋上風力発電の維持・管理に「基地港湾を補完する港湾」が必要であること、日本海側を北海道から本州へと電力を運ぶ海底ケーブルを整備することが検討されていることから、「基地港湾を補完する港湾」として、海底ケーブルの陸揚げ港として、瀬棚港が選定されるように必要な活動や取組、手続き等を進めます。

【期待できる効果】

- ・ 瀬棚港の活性化
- ・ 風力発電の維持・管理に係る従業員の定着化
- ・ 洋上風力発電の立地に伴い関連するエネルギー利用産業の創出、雇用創出

【関係する主体】

- ・ せたな町、風力発電事業者等、港湾関係者、漁業関係者

【関連する主な取組】

- ・ 洋上風力発電の誘致

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2. 公的施設等の再エネ設備の設置、再エネ電源の地産・地消

a. 日本初洋上風力発電設備「風海鳥」のリパワーまたは建替（○）

【概要】

- ・FITによる固定価格買取制度の期間が2023年末に満了する、日本初洋上風力発電設備「風海鳥」により発電した電気の地産・地消の方法について検討を進めます。
- ・町のシンボルである「風海鳥」を可能な限り存続できるよう「卒FIT電力（注）」の活用を検討します。
- ・5年後の2028年度までを目標とし、後継設備の新設検討を行い総発電量を増加します。

【期待できる効果】

- ・エネルギー自給率の向上
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、小売電気事業者、地域電力代理店、電力需要家（住民）

【関連する主な取組】

- ・洋上風力発電の誘致、基地港湾の補完等の取組、再エネ設備による環境教育、観光資源としての活用

（注）固定価格買取制度（FIT）によるプレミアム価格での買取期間が終了した電力

19

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2. 公的施設等の再エネ設備の設置、再エネ電源の地産・地消

b. 北部桧山衛生センター組合のごみ焼却処理施設を利用した発電（○）

【概要】

- ・北部桧山衛生センター組合のごみ焼却処理施設の建替えの際には、ごみ焼却により発生する熱を利用した発電設備の設置を検討します。

【期待できる効果】

- ・エネルギー自給率の向上
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、施設管理者、小売電気事業者、地域電力代理店、電力需要家（住民）、近隣自治体

【関連する主な取組】

- ・近隣自治体へのエネルギー融通

20

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2. 公的施設等の再エネ設備の設置、再エネ電源の地産・地消 c. 太陽光発電設備の設置（学校や役場などの公共施設等）（◎）

【概要】

・学校、役場、公民館等の屋根や施設敷地内及び町有地等に太陽光発電設備や蓄電池等を導入し、防災機能の強化や環境教育への利用を図るとともに、再エネ電源の地産・地消を図ります。

【期待できる効果】

- ・大規模な設備による大幅なCO₂削減効果
- ・防災機能の強化
- ・自家消費等による経済的メリット
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

・せたな町、施設管理者等、小売電気事業者、地域電力代理店、電力需要家（住民）、近隣自治体

【関連する主な取組】

- ・再エネ設備による環境教育、電気自動車等の導入、近隣自治体へのエネルギー融通

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

2. 公的施設等の再エネ設備の設置、再エネ電源の地産・地消 d. 余剰電源の町民還元等を目的とした、町内外を含めた自営線設置などの検討（○）

【概要】

・関係機関と協力して、地域電力会社を設置し、風海鳥や、ごみ焼却処理施設、町有地等で発電した電力を地域電力会社へ売電します。
・町内企業や一般家庭と地域電力会社との契約を促進し、エネルギーの地産地消の比率を高めます。
・将来的には、町内外を含めた自営線の設置、マイクログリッド構築を検討します。

【期待できる効果】

- ・防災機能の強化
- ・自家消費等による経済的メリット
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

・せたな町、施設管理者等、小売電気事業者、地域電力代理店、電力需要家（住民）、近隣自治体

【関連する主な取組】

- ・近隣自治体へのエネルギー融通

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

3. 民生部門等の再エネ電源の地産・地消

a. 太陽光発電設備の設置補助（◎）

【概要】

・ 一般家庭や事業所等の屋根や敷地内に設置する太陽光発電設備や蓄電池等の設置に際し、国等の制度を活用した設置費用の助成を行います。

【期待できる効果】

- ・ 防災機能の強化
- ・ 停電時の非常用電源の確保
- ・ 自家消費による経済的メリット
- ・ 関連産業の活性化
- ・ 再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、建設協会等、ハウスメーカー等

【関連する主な取組】

- ・ 勉強会の開催や広報等による周知、ZEH・ZEB化への補助

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

4. 農林業・漁業での再エネ電源の利用

a. 農林業・漁業等への再エネ電源を利用した設備の設置支援等（○）

【概要】

・ 太陽光発電等の再エネ電源を利用した設備の設置に際し、国等の制度を活用した設置費用の助成を検討します。

・ 洋上風力発電の導入にあたっては、事業実施が決定した発電事業者に対して、漁業協調の具体的な方法（漁礁の設置や海水温の情報提供等）について、検討の依頼を行います。

【期待できる効果】

- ・ 防災機能の強化
- ・ 停電時の非常用電源の確保
- ・ 再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、建設協会等、港湾関係者、漁業関係者、農業関係者

【関連する主な取組】

- ・ 洋上風力発電の誘致、基地港湾を補完する港湾

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

5. 省エネの促進

a. 住宅や事業所のZEH化、ZEB化への補助（◎）

【概要】

・住宅や事業所等の新築や改修時に伴いZEH化、ZEB化を行う際に、国等の制度を活用した設置費用の助成を行います。

【期待できる効果】

- ・関連産業の活性化
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透

【関係する主体】

- ・せたな町、建設協会等、町内事業者、住民

【関連する主な取組】

- ・勉強会の開催や広報等による周知、太陽光発電設備の設置補助

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

5. 省エネの促進

b. 公用車、町内バス・タクシーの次世代自動車（EV化）の推進（◎）

【概要】

- ・公用車に次世代自動車（EV化）を導入し、二酸化炭素の排出削減を図るとともに、災害時の移動可能電源として活用します。
- ・町内バス・タクシーの次世代自動車（EV化）の導入を促進し、二酸化炭素の排出削減を図るとともに、災害時の移動可能電源としての活用を検討します。
- ・町内における電気自動車の充電設備の充実化を図ります。

【期待できる効果】

- ・防災機能の強化
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、バス・タクシー会社等

【関連する主な取組】

- ・近隣自治体へのエネルギー融通

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

5. 省エネの促進

c. 町内の照明のLED化の推進 (◎)

d. LED照明設備の増設 (街灯やスポーツ施設など) (○)

【概要】

- ・ 町内の照明のLED化をさらに推進し、二酸化炭素の排出削減を図ります。
- ・ 新規に街灯を設置する際には、LEDによる照明を原則として使用します。
- ・ 安全・安心なまちづくりを目指して街灯やスポーツ施設などへのLED照明設備の増設を検討します。

【期待できる効果】

- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、道路管理者、施設管理者等

【関連する主な取組】

- ・ 勉強会の開催や広報等による周知

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

6. 地域活性化の推進 など

a. 再エネ設備を見学する施設の設置 (○)

b. 再エネ設備の観光資源としての活用 (◎)

【概要】

- ・ 再エネ事業の理解促進を図るため、再エネに関係する発電事業者の協力を得て、再エネ設備を説明する施設の設置等を検討します。
- ・ 再エネ設備を活用した観光プログラムを検討し、観光客の誘致を図ります。

【期待できる効果】

- ・ 交流人口の増加
- ・ 再エネに関連する観光施設・プログラムによる地域の活性化
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、再生可能エネルギーに関連する発電事業者、教育関係者、観光協会

【関連する主な取組】

- ・ 勉強会の開催や広報等による周知

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

7. 温室効果ガスの吸収源としての機能向上

a. 未利用材の活用による木質バイオマスの地産・地消の検討（○）

【概要】

- ・木材の搬出に伴って発生する林地未利用材（注）等を対象に木質バイオマスなどとしての地産・地消の手法を検討します。
- ・伐期を迎えた森林を適切に管理することにより、温室効果ガスの吸収源としての機能向上を図ります。

【期待できる効果】

- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、森林組合

【関連する主な取組】

- ・勉強会の開催や広報等による周知

（注）林地未利用材とは、森林の伐採の際に発生する「製材等に利用できない細い間伐材」や「枝条」「木の根元」など、これまでは未利用のまま林地に残されてきた木材。

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

7. 温室効果ガスの吸収源としての機能向上

b. 自然環境保全上、重要な地域の適切な保全・維持管理（◎）

【概要】

- ・ゾーニングマップ等をもとに、自然環境保全上、重要な地域における再エネ事業の開発抑制・共生を図ります。

【期待できる効果】

- ・生物多様性の保全

【関係する主体】

- ・せたな町、再エネに関する発電事業者

【関連する主な取組】

- ・勉強会の開催や広報等による周知

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

8. 再エネ基金や再エネ電源を活用した再エネ導入、安全・安心なまちづくりの推進
- a. 再エネ基金の設立の検討 (◎)
 - b. 再エネ基金を活用した、再エネ導入の推進 (◎)

【概要】

- ・再生可能エネルギーを新規に設置する事業者を対象に、基金への寄付を依頼する、再エネ基金の設立を検討します。
- ・当該基金を活用して、住民の再エネ設備導入や、農林業や漁業等での再エネの活用促進、次世代自動車の促進等を検討します。

【期待できる効果】

- ・農林業や漁業等の活性化
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、再エネに関係する発電事業者、農林業関係者、漁業関係者、住民

【関連する主な取組】

- ・太陽光発電設備の設置補助、農林業・漁業での再エネ電源の利用、公共交通機関等の次世代自動車（EV化）の推進

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

8. 再エネ基金や再エネ電源を活用した再エネ導入、安全・安心なまちづくりの推進
- c. 災害時における再エネ発電設備の活用 (◎)

【概要】

- ・公共施設等に設置した再エネ設備を活用し、災害時における電源の確保を図ります。
- ・町内の再エネに関係する発電事業者を対象に、災害時における非常用電力供給に関する協定の締結の検討を進めます。

【期待できる効果】

- ・停電時の非常用電源の確保
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、再エネに関係する発電事業者、施設管理者等

【関連する主な取組】

- ・公共施設等の再エネ設備設置、陸上・洋上風力発電の誘致

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

8. 再エネ基金や再エネ電源を活用した再エネ導入、安全・安心なまちづくりの推進 d. 再エネ電源を活用したロードヒーティング等による交通安全の確保 (○)

【概要】

・風力・太陽光等の再エネ電源を活用したロードヒーティングや融雪設備等の設置を検討します。

【期待できる効果】

・交通事故の削減・防止

【関係する主体】

・せたな町、道路管理者等

【関連する主な取組】

・近隣自治体へのエネルギー融通

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

9. 再エネ設備を利用した環境教育の実施 ・再エネ設備を見学する施設の設置（再掲） (○) ・再エネ設備を利用した環境教育に係る授業の実施 (◎) ・環境教育を目的とした町内外からの設備見学受入の実施 (◎)

【概要】

・再エネ事業の理解促進を図るため、再エネに関係する発電事業者の協力を得て、再エネ設備を説明する施設の設置等を検討します。

・再エネに関係する発電事業者の協力や有識者等の協力を得て、再エネ設備の見学、地球温暖化対策、ゾーニングマップの活用等に関連した授業やサイエンスキャンプ等の実施を検討します。

・再エネ設備の見学等に係る取組PRを積極的に行います。

【期待できる効果】

・交流人口の増加

・再エネや環境に関心を持つ人材の育成

【関係する主体】

・せたな町、再エネに関係する発電事業者、学校教育関係者、有識者等

【関連する主な取組】

・勉強会の開催や広報等による周知

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

10. 再エネ導入・省エネ取組に係る勉強会の開催や広報等による周知（◎）

【概要】

・ ZEH・ZEB化や住宅用太陽光発電設備の設置の助成に係る周知や、再エネ・省エネに関する定期的な勉強会の開催、広報等による再エネ・省エネに関する周知などを行います。

【期待できる効果】

- ・ 町内全体の再エネ意識の向上
- ・ 再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、有識者等、住民

【関連する主な取組】

- ・ 再エネ設備を利用した環境教育、太陽光発電設備の設置補助、ZEH・ZEB化への補助

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

11. 町内外の関係機関と連携した再エネ・省エネ設備の維持・管理に係る人材育成の取組（○）

【概要】

・ 再エネに関係する発電事業者や、町内外の関係機関等の協力を得て、町内の再エネ・省エネ設備を利活用した、設備の維持・管理に係る人材育成プログラムの検討を行います。

【期待できる効果】

- ・ 交流人口の増加
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、再エネに関係する発電事業者、学校教育関係者、有識者等

【関連する主な取組】

- ・ 再エネ設備を利用した環境教育、勉強会の開催や広報等による周知

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

- 12. 再エネ設備における蓄電池の設置 (○)
- 13. 再エネ電源を利用したEV充電設備の設置 (○)

【概要】

・町内の再エネ設備を対象に、蓄電池の設置に係る助成を行い、災害時における非常用電力供給の協力依頼や、電気自動車の充電設備の設置に係る協力依頼を行います。

【期待できる効果】

- ・停電時の非常用電源の確保
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、再エネに関係する発電事業者、道路管理者等

【関連する主な取組】

- ・公用車等の次世代自動車（EV化）の推進

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

- 14. 温泉熱や小水力等を活用した再生可能エネルギーの導入の検討 (○)

【概要】

・温泉熱の活用や、町内の河川等を対象とした小水力発電などを対象とした、再生可能エネルギーの活用や導入について検討します。

【期待できる効果】

- ・停電時の非常用電源の確保
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・せたな町、施設管理者等、河川管理者

【関連する主な取組】

- ・近隣自治体へのエネルギー融通

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

15. 農機・重機・船舶のEV化・非化石燃料化（水素ガス等）の実証事業（○）

【概要】

- ・ 農林業や漁業に関連する機器のEV化・非化石燃料化（水素ガス、アンモニア等）、沖合の洋上風力発電に関する先進的な取組の情報収集を行います。
- ・ 国や北海道において、当該取組に係る実証事業や補助事業などが検討される場合は、積極的に参画を検討します。
- ・ ガラスに貼るフィルムや塗料による太陽光発電技術等、再エネの活用に関する先進的な取組の情報収集を行います。
- ・ 広報等を通して、収集した情報発信や周知を行います。

【期待できる効果】

- ・ 再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、住民

【関連する主な取組】

- ・ 洋上風力発電の誘致、基地港湾の補完等の取組、勉強会の開催や広報等による周知

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

16. 家畜糞尿バイオガス設備の設置（○）

【概要】

- ・ 町内の畜産家や酪農家が家畜糞尿バイオガス設備の設置を検討する際には、積極的に関与し、国等の制度を活用した助成やマイクログリッド構築などの検討を行います。

【期待できる効果】

- ・ エネルギー自給率の向上
- ・ 自家消費による経済的メリット
- ・ 再生可能エネルギーの地域への浸透
- ・ 町内全域における活動の推進

【関係する主体】

- ・ せたな町、畜産家、酪農家等

【関連する主な取組】

- ・ 近隣自治体へのエネルギー融通

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

17. 近隣自治体へのエネルギー融通（町内外を含めた新電力の検討）（○）

【概要】

・町内各地に設置する再エネ設備で発電した電源をもとに、地域電力会社の設立を検討するとともに、必要に応じて近隣自治体へのエネルギー融通を行い、広域連携による再エネ電源利用の拡大を検討します。

【期待できる効果】

- ・停電時の非常用電源の確保
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透

【関係する主体】

- ・せたな町、小売電気事業者、地域電力代理店、電力需要家（住民）、近隣自治体

【関連する主な取組】

・町内外での自営線の設置、衛生センターでの発電設備の設置、町有地等での太陽光発電設備の設置、家畜糞尿バイオガス設備の設置

4. せたな町地域エネルギービジョンの具体的な取組

17. 近隣自治体へのエネルギー融通（町内外を含めた新電力の検討）（○）

【概要】

・町内各地に設置する再エネ設備で発電した電源をもとに、地域電力会社の設立を検討するとともに、必要に応じて近隣自治体へのエネルギー融通を行い、広域連携による再エネ電源利用の拡大を検討します。

【期待できる効果】

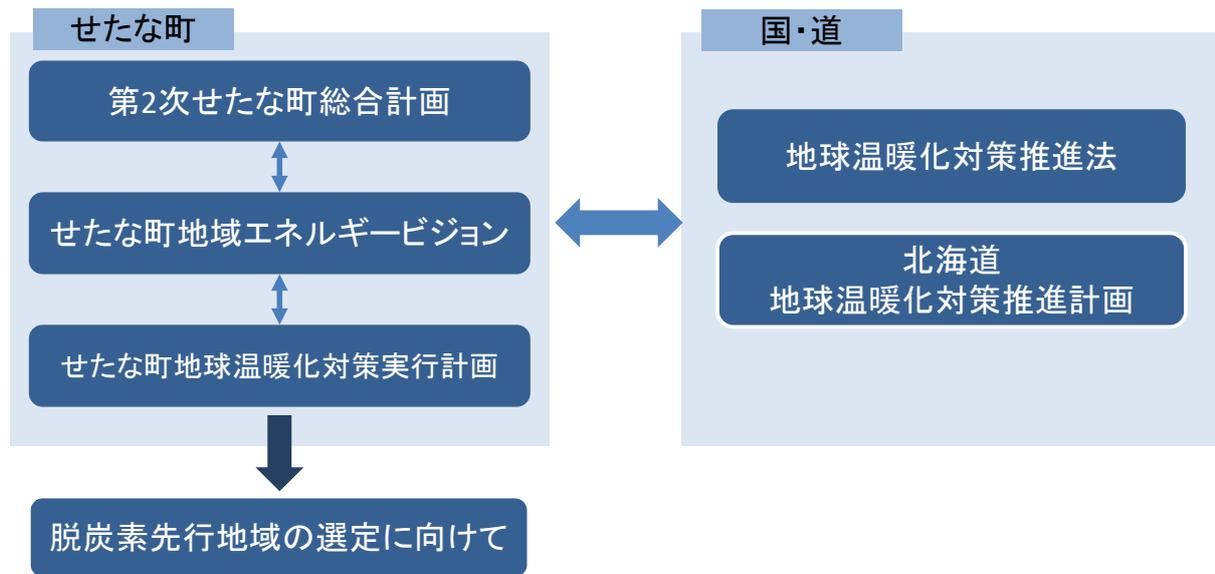
- ・停電時の非常用電源の確保
- ・再生可能エネルギーの地域への浸透

【関係する主体】

- ・せたな町、小売電気事業者、地域電力代理店、電力需要家（住民）、近隣自治体

【関連する主な取組】

・町内外での自営線の設置、衛生センターでの発電設備の設置、町有地等での太陽光発電設備の設置、家畜糞尿バイオガス設備の設置



エネルギーの目次

第1章 地域エネルギービジョン策定の背景と目的

- 1-1 地域エネルギービジョン策定の背景と目的
- 1-2 地域エネルギービジョンの位置づけ
- 1-3 再生可能エネルギーとは
- 1-4 対象範囲及び対象とする再生可能エネルギー

第2章 せたな町の現状と課題

- 2-1 せたな町の地域特性
 - 2-1-1 自然特性
 - 2-1-2 社会特性
- 2-2 せたな町における再生可能エネルギーに係る取り組み
- 2-3 せたな町の温室効果ガス排出量
 - 2-3-1 現状の温室効果ガス排出量
 - 2-3-2 温室効果ガス排出量の将来推計
- 2-4 せたな町の課題

第3章 再生可能エネルギーに係る住民意識調査

- 3-1 アンケート調査の概要
 - 3-1-1 町民調査の実施概要
 - 3-1-2 中学生調査の実施概要

第4章 再生可能エネルギーの賦存量と導入ポテンシャル

- 4-1 基本的な方向性
- 4-2 太陽光発電
- 4-3 陸上風力
- 4-4 洋上風力
- 4-5 小水力
- 4-6 バイオマス
- 4-7 地熱

第5章 基本方針

第6章 具体的な取組